

留 学 報 告 書

記入日:2018年12月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 西シドニー大学 現地言語: Western Sydney University
留学期間	2018年2月～2018年11月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年11月28日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:3 月上旬～7 月上旬 2 学期:7 月下旬～11 月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	44000
創立年	1989 年

留学費用項目	現地通貨 (オーストラリアドル)	円	備考
授業料		0 円	授業料免除型のため
宿舍費		約 100 万円	
食費		約 100 万円	
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		約 40 万円	メルボルン・キャンベラ・ゴールドコーストへの旅行費用含めて
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		約 240 万円	オーストラリア政府から 5000 ドルの奨学金(返済不要)が支給されました。

渡航関連

渡航経路: 往路: 成田→インチョン→シドニー/復路: シドニー→成田

渡航費用

チケットの種類	エコノミークラス
往路	70000 円
復路	75000 円
合計	145000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3) 住居を探した方法:

西シドニー大学からメールで紹介されました。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

友達をつくるという点においては、良かったです。しかし、ルームメイト次第で生活が激変してしまうので、ルームチェンジが必要だと感じたら、すぐに行くことをお勧めします。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

寮のフラットメイトに問題があり、寮の管理人の方に相談しました。西シドニー大学には、ステューデント・セントラルという生徒のための相談窓口がありました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

オーストラリア到着 3 日後に、プールでバスタオルを盗まれました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮では大学の wifi が利用できました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開き、日本の親にお金を送っていただいていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特にありません。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 この留学経験から、全世界に展開をしている企業で働きたいと強く思いました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
60 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 10 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Asia in the World	世界の中のアジア
科目設置学部・研究科	School of Humanities and Communication Arts
履修期間	Autumn 2018
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回
担当教授	Karen Entwistle
授業内容	アジアの歴史
試験・課題など	試験はなく、課題として、6 回の小テストと 1000 単語のレポートと 2500 単語のレポートがありました。
感想を自由記入	高校の世界史のような授業スタイルでとても取り組みやすかったです。この授業のおかげで、アジア地域に興味を持つことができました。先生もとても親切で、私の質問に丁寧に答えて下さりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Analytical Reading and Writing	分析的に読むこと・書くこと
科目設置学部・研究科	School of Humanities and Communication Arts
履修期間	Autumn 2018
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Adrian Hale
授業内容	アカデミックリーディング・ライティング
試験・課題など	試験はなく、課題としてレポートとオンラインクイズがありました。
感想を自由記入	この授業を通して、アカデミックライティングの基礎が身に着きました。授業のサポートクラスがとても充実しており、授業や課題でわからなかったことを先生に直接質問できました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Professional Communication 1	プロの意思疎通の原則
科目設置学部・研究科	School of Humanities and Communication Arts
履修期間	Autumn 2018
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Myra Gurney
授業内容	ノンバーバルコミュニケーションやビジュアルコミュニケーションなど
試験・課題など	試験はなく、課題として、プレゼンテーションとレポートがありました。
感想を自由記入	この授業で最も難しかったのはプレゼンテーションでした。日本と違い、学術書から情報を採らなければならなかったため、十分な情報を得ることができませんでした。また、日本で取り組んだことのないビジネスレポートも難しいかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Relations	国際関係論入門
科目設置学部・研究科	School of Humanities and Communication Arts
履修期間	Spring 2018
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(レクチャー+チュートリアル)(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	David Walton
授業内容	リアリズムやリベラリズムなど基本的な理論等
試験・課題など	オンラインクイズとレポート、そして持ち帰り試験で成績が評価されました。
感想を自由記入	この授業では、先生が提示した質問に対して、生徒同士でディスカッションをする機会が多くありました。自分の言いたいことを正確に伝えられないことが多々ありましたが、新たなことに挑戦するという意味で、良い経験になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Global History	全世界の歴史
科目設置学部・研究科	School of Humanities and Communication Arts
履修期間	Spring 2018
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクトリアル(レクチャー+チュートリアル)(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Gregory Barton
授業内容	primary source(昔の文章)の読解等
試験・課題など	クイズとレポートで成績が評価されました。
感想を自由記入	primary source においてあることを理解することに大変苦しみました。そのため、クラスメイトに理解できなかったところを積極的に聞きました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Australia and the World	オーストラリアと世界
科目設置学部・研究科	School of Humanities and Communication Arts
履修期間	Spring 2018
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Karen Entwistle
授業内容	オーストラリアの歴史全般
試験・課題など	要約・レポート・持ち帰りテストの3つで成績が評価されました。
感想を自由記入	オンラインクイズが無かったため、ライティングの量がとても多く、苦労しました。しかし、苦労した分終わった時の達成感は何れの教科の中で1番大きかったです。



留学に関するタイムチャート

2017年 1月～3月	IELTS の勉強
4月～7月	7月学内選考申し込み
8月～9月	
10月～12月	10月学内選考合格者オリエンテーション
2018年 1月～3月	2月出発
4月～7月	7月冬休み
8月～9月	
10月～12月	11月帰国
2019年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私が留学を志した理由は、主に2つあります。1つ目の理由としては、中学3年の時、修学旅行でオーストラリアに行った時に英語で自分の言いたいことをしっかりと伝えることができず、英語を話すことができるようになりたいと思ったことです。2つ目の理由としては、大学1年の時、政治経済学部でプログラムで、留学生とディスカッションをする機会があり、彼らの積極的にディスカッションに加わろうという姿勢を見て、彼らと共に勉強したいと思ったことです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学のためにしておくべきであったことは、リスニング力の向上です。留学先では、相手が言っていることが聞き取れないことが多々あり、大変苦労しました。リスニング力がもう少し高ければ、もっと多くの人との会話を楽しむことができ、もっと多くの友達を作ることができたと思います。また、留学先の情報を事前にもっと集めるべきだったと思いました。午後6時にほとんどのお店が閉まることを知らず、初めの頃はとても戸惑いました。
この留学先を選んだ理由	この留学先を選んだ理由は主に2つあります。1つ目の理由としては、政治経済学部のプログラムを通して出会った西シドニー大学の学生から大学の雰囲気(様々なバックグラウンドを持った生徒がいる等)を聞き、西シドニー大学で留学することで、たくさんのことを学ぶことができると思ったことです。2つ目の理由としては、ブルーマウンテン、ボンダイ・ビーチ、マンリー・ビーチなどオーストラリアの美しい自然を満喫したいと思ったことです。
大学・学生の雰囲気	私が住んでいたパラマツタには駅から徒歩で行くシティキャンパスと駅から大学のシャトルバスで行くサウスキャンパスがあります。シティキャンパスは今年できたばかりのため、綺麗でとても勉強しやすい環境です。サウスキャンパスは少し古いですが、キャンパス内に大きな図書館があり、レポートの資料探しの時に活用できます。学生の雰囲気としては、日本の学生より勉強熱心だと感じました。キャンパスには午後11時など夜遅くまで勉強している学生を何度も見かけました。
寮の雰囲気	寮には、沢山の国や地域から来た留学生が住んでおり、国際色豊かな雰囲気でした。また、寮の受付で働いている人の対応はとても良かったです。特に、到着して間もなく起こった、発注した教科書がなかなか届かない問題を解決して下さったときは、とても助かりました。夜には、よくパーティーが行われていました(テスト期間が近づいても行われていました)。寮内賑やかな雰囲気である一方、パーティーの後片付けがされていなく、汚いことが多々ありました。
交友関係	西シドニー大学で日本語の授業が開講されていることもあり、日本に興味を持っている人が多く、沢山の友達をつくることができました。前期は週に1度日本語を勉強している現地の学生とシドニーの中心街に行き、ご飯を食べたり、カラオケをしたりして充実した時間を過ごしました。また、休みの期間には、ブルーマウンテンやピピットシドニー(シドニーの市街地で行われるお祭り)に行きました。帰国前には、日本に帰国する交換留学生のために、送別会を開いてくれました。
困ったこと、大変だったこと	私が最も困ったことは、フラットメイトとの共同生活でした。フラットメイトの1人は、寮の室内でたばこを吸うことが禁止されているにもかかわらず、窓を全部閉めて、友達とたばこを吸っていました。このため、アパート内が大変たばこ臭く、夜中に何度も起きてしまいました。また、このフラットメイトは他のフラットメイトの部屋に許可なく侵入しました。このため、寮のマネージャーとこのフラットメイトのことで話さなければいけませんでした。
学習内容・勉強について	私はアフリカ、南米、ヨーロッパなど様々な国々から来ている学生たちと議論を通じて、国際関係に関する勉強をしたいと思い、国際関係論入門を履修しました。この授業では、日本のことにも多々取り上げられ、海外の人が日本がこれまでやってきたことをどう思っているのかを直接聞くことができ、大変ためになりました。授業中、先生が言っていることが理解できなかったことがあったときは、理解できなかった部分をそのままにせず、先生や友達に積極的に聞きに行くことがとても大切だと感じました。

課題・試験について	私は留学中合計 6 科目を履修したのですが、偶然にも、試験は一つもありませんでした。そのため、成績は課題の出来で評価されました。課題は、教科書の内容を基にしたオンラインクイズとレポートが中心でした。レポートは最大で2500ワード書くことが求められました。レポートを書くためには、本や学術論文(wiki 不可)から大量の情報を得ることが必要であり、とても大変でした。しかし、時間を費やした分、良い成績が取れたので、高いモチベーションは維持することができました。
大学外の活動について	主に2つのことに取り組みました。1つ目は、到着してすぐに、ニューサウスウェルズ州の政府が支援するグローバルスコーププログラムに参加したことです。2つ目は、西シドニー大学にトライアスロン部がなく、シドニー工科大学のトライアスロンクラブに所属したことです。週に 1 度から 2 度、オリンピックパークで行われる早朝の練習に参加しました。帰国する直前には、このクラブのメンバーとアイアンマン 70.3(swim1.9km, bike 90km, run 21.0975km)に参加しました。
留学を志す人へ	留学中は、主に2つのことが重要だと思います。1つ目は、行動することです。積極的に行動することで、たくさんを経験することができます。私の場合、寮や大学で自分から声をかけ、クラブ活動に参加することで、世界中にネットワークを作ることができました。2つ目は、どんなことでも落ち着いて対応することです。留学生活では、予期しないことが起こるかもしれません。私の場合、ルームメイトに大変問題があり、生活面でとても苦労しました。こういったことに冷静に対処することで、問題を解決することができ、人間的に大変成長することができました。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	予習・復習	オリンピックパークでの自転車練習	授業	授業	予習・復習		友達と遊ぶ
		授業					
午後	授業		授業				
				買い物			
夕刻							
夜							

